

今、岩手県の児童・生徒の大きな課題は、テレビ視聴時間が長く、家庭における学習時間や読書時間が短いということです。3 時間以上テレビ等を見ている小 6 の割合は 47.5%、中 3 の割合は 42.5%（H22 全国学力テストより）であり、平成 19 年度以降減少していません。

そこで、平成 21 年より「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を共通課題として全県で取り組みましようと呼びかけているところですが、この 2 つの課題は 5 者が一堂に会することはないので敬遠されがちで、また、地域の方が各家庭の「家庭学習」に関わるのは困難であるとの声が聞かれます。

それぞれがそれぞれの役割を自覚と責任を持って果たす・・・のですから、「学校」はわかりやすい授業を工夫します。「家庭」はテレビを消して子どもに家庭学習をさせます。当然、「子ども」は、テレビを見すぎていることや勉強をしなければならぬことを「学校」や「家庭」で諭され、自覚して取り組みます。

共働き等で家庭において学習をしにくい環境にある子どもに対して、「地域」において学習を見守る場を設け、「家庭」や「学校」を支援します。「行政」はそれらの取組を広報活動で紹介し、「家庭」や「地域」が学習する機会を設けます。

それぞれがそれぞれのすべきことをきちんと果たしたかを評価し、課題が解決されたかを子どもの意識・行動の変化をもって評価する。5 者の連携とは、一堂に会することではなく、同じ方向を向くということではないでしょうか。

3 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）寒くなってきたわね。

（振ちゃん）アツという間に 11 月も終わろうとしているもんね。市町村の皆さんは、今年度の集約会議の準備に入っていることでしょうか。

（教ちゃん）県主催の「実践の 3 年」集約県大会も、1 月 28 日（金）に奥州市 Z ホールで行うのよ。

（振ちゃん）もうじき、ご案内をお届けできると思いますが、各市町村からたくさんの方にきてもらいたいな。秋田県から講師を招く予定ですので、地域連携窓口教員の皆さんにもお声をかけていただきたいです。

（教ちゃん）明日（11 月 25 日）は、「学校支援地域本部事業」成果発表会が、県民会館（盛岡市）で行われるのよ。「今後の学校・家庭・地域住民相互の連携協力について」と題して、千葉大学教育学部教授 明石要一（あかしよういち）先生の講演もあるのよ。当日参加（10 時 30 分開会）も大丈夫ですので、こちらもたくさん来てほしいわ。

（振ちゃん）「学校支援地域本部事業」を行っていない市町村にとっても、いわて型コミュニティ・スクールを進めている先生方にとっても、いい勉強の機会になると思います。

4【編集後記】あつしのひとりごと

「ひとりで問題を抱え込んでいる人がまわりにたくさんいます。・・・子育て中の親が問題をひとりで抱え込まないために、そして孤独でいないために、社会は手を貸す必要があるのではないのでしょうか。それが“子育て支援”の本来の意味でしょう。・・・どうか温かな声をあけてあげてください。耳や目をふさがなくて・・・。」『あそびをせんとや・・・』（森下久美子；著）の一節です。

子育て中の親とは、小中学生の親も含めています。安心して子育てができる社会とは、経済的な支援や働いている親の代わりに子どもの世話をすることではなく、このような温かい「地域」のことを言うのではないのでしょうか。

子どもに対して間接的に影響を及ぼす親（大人）に対する働きかけ。これも、教育振興運動における「地域」の役割ではないのでしょうか。

⇒ 第34号は、12月14日（火）配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー（第18～26号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★平成22年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index6.html>

～～～配信元～～～

＊ 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

＊ 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

～～～